

消防だより

No.112

# 火の用心

Tokamachi Fire Department



令和7年7月9日

## 間違った遊び方をしていませんか？



手持ち花火を数本束ねて点火すると、爆発的に燃焼し、大きな炎となって、火災や火傷の原因になる可能性があります！

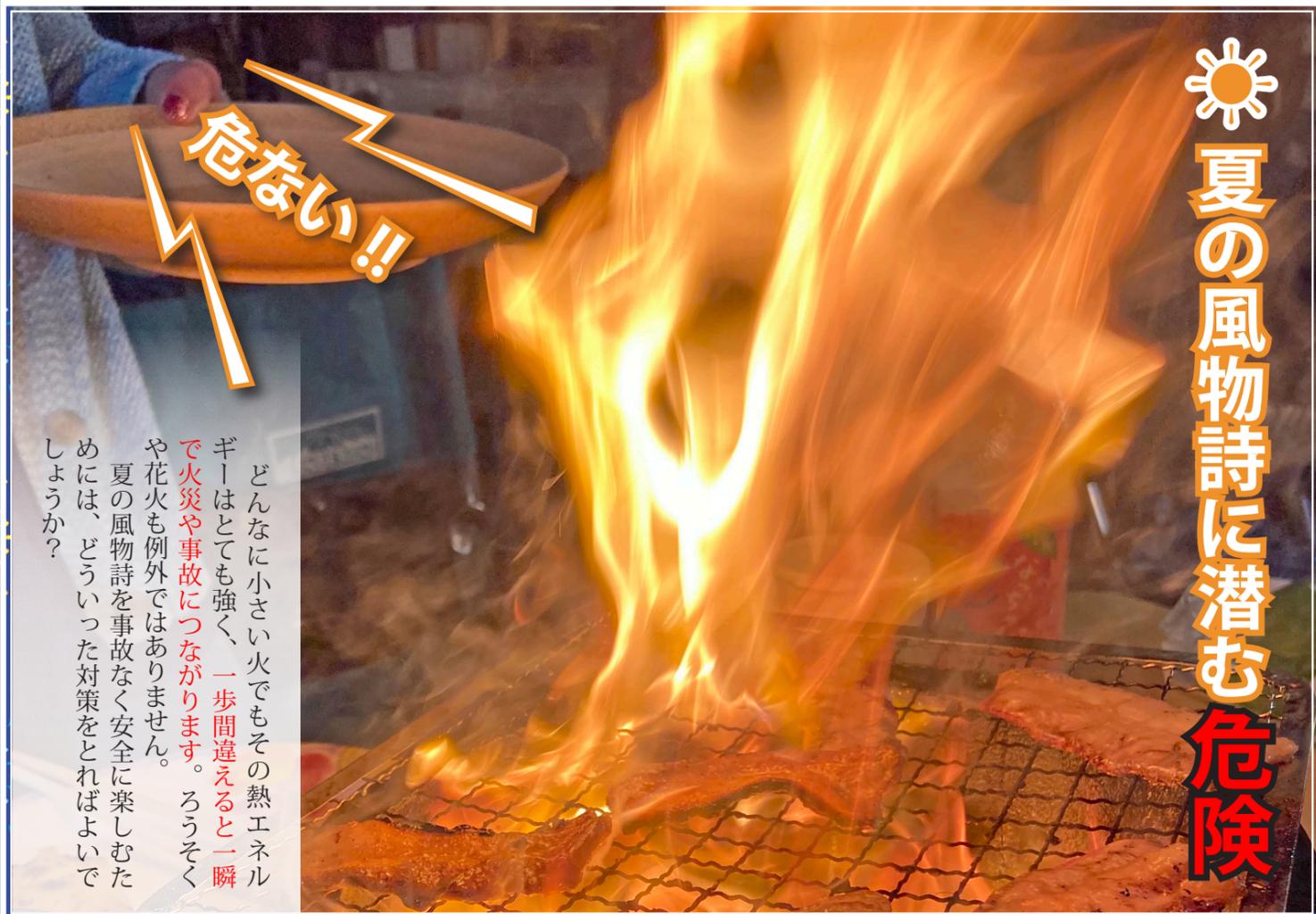


特集

## 夏の風物詩に潜む危険

夏といえば海や山でのレジャー、祭りやお盆など、楽しいことがたくさんあり、バーベキューや花火などでは、**火を使う機会が少なくありません**。そこで今号は、楽しく安全に夏を過ごしていただくために、実際にあった事故事例を踏まえながら、火の用心について考えてみましょう！

# 夏の風物詩に潜む危険



どんなに小さい火でもその熱エネルギーはとて強く、一歩間違えると一瞬で火災や事故につながります。ろうそくや花火も例外ではありません。夏の風物詩を事故なく安全に楽しむためには、こういった対策をとればよいでしょうか？

## バーベキュー

事例 着火剤の継ぎ足し

バーベキューコンロ内の火が弱かったため、火の勢いを強めようと着火剤を炭火に継ぎ足したところ、急激に燃え上がり、着衣に着火し火傷を負う。



着火剤は、揮発性が高いものが多くことから、継ぎ足し中に炎が大きくなり、着ているものに燃え移る危険性があります。

着火剤を用いて点火するときは、適量を守り、火が弱くても継ぎ足しは絶対行わないようにしましょう。



東京消防庁  
ホームページ

## ろうそく

事例 ろうそくの芯が飛ぶ

ろうそく台に残った水分により、火のついたままのろうそくの芯が飛び、近くの可燃物に引火して、火災になった。



受け皿に水が残っていると、ろうそくが燃え尽きる直前に水が熱せられ、瞬間的に気化・膨張し、火のついた芯を飛ばす原因になります。

ろうそく台を洗った場合は、完全に水分を拭き取ってから使用しましょう。

既製品の裏にも記載されています。確認してみてください！



## 花火

事例 ライターで花火に点火

ライターを使用し花火に火をつけようとしたが、着火しなかったため、さらにあぶり続けていたところ、急に花火に着火し、炎が手にあたり火傷を負う。



ライターで点火すると、花火が急激に燃え上ったり、破裂するなどして、火災や火傷などの事故につながります。

マッチやライターでの点火はとても危険です。ろうそくを立て、その火で花火に点火するようにしましょう。



日本煙火協会  
ホームページ

## 花火(子ども)

事例 手持ち花火の誤使用

花火を振り回して遊んでいたところ、風によって火花が飛んでスカートに着火。保護者が叩いても火は消えず、火傷を負う。



おもちゃ花火も危険物になります。楽しい反面、遊び方を間違えると、火災や火傷などの事故につながります。

パッケージ等に記載されている注意事項をよく確認し、必ず守りましょう！

また、大人は事故を未然に防ぐために、自分の目の届く範囲で子どもを遊ばせるようにしましょう。

## 安全に

夏を楽しもう



## 事前の準備が大切です

事前の準備がおろそかだと、重大な事故につながる可能性があります。もしもの時を想定して、事前の準備を行い夏を楽しむようにしましょう！

(例) 水バケツ



もしもの時、すぐに消火できるよう、また、花火・木炭の完全消火を目的に用意しましょう。

## 事故を防ぐためのポイント

事故のほとんどが、行為者の不注意や誤使用によるものです。安易な考えや低い防火意識で行動するのではなく、事故や火災をおこさないよう、高い防火意識を持って行動するようにしましょう！

その場を離れない



ろうそくや線香に火をつけたままその場を離れる行為は、火災の原因になるためやめましょう。

消毒用アルコールの誤使用はしない



着火剤として消毒用アルコールを使用する行為は大変危険です。絶対にやめましょう。

風の強い日は花火をしない



風の強い日は、火花が煽られて着衣に着火する恐れがあるため、花火は控えましょう。

子どもだけで遊ばせない



知らぬ間に思わぬ事故になりかねません。大人は火の取り扱いの教育もかねて一緒に遊ぶようにしましょう。

SFマーク付き花火を使用しよう



(公社) 日本煙火協会が行う検査に合格した花火につけられています。安全に楽しむために、SFマーク付き花火を使用しましょう。

楽しい夏の風物詩にも危険が潜んでいます。お伝えしたポイントを踏まえて、安心・安全で楽しい夏を過ごしましょう！

## 「映像119！」

～映像通報システム～

119番通報時に音声に加えて災害現場映像も消防署へ送るシステムです。有効な応急手当や迅速な現場活動に役立ってます。※令和7年6月1日開始

消防署から届いたショートメッセージのURLをタップ

消防署からビデオ通話通報の要請がありました。URLにアクセスしてください。http://●●●●



カメラの映像や災害現場の位置が消防署に届く



消防署から現場対応の助言や、応急手当の動画が送られてくる



- カメラ付きスマートフォンで映像通報できます。
- アプリや事前登録は必要ありません。
- 「映像119」にかかる通信料は、通報者の負担となります。
- スマートフォンのGPSを有効にすることで、災害現場の位置がわかりやすくなります(消防車や救急車の出動が早くなります)。

通報内容で消防が必要と判断した場合に、通報者の同意を得たうえで利用を案内します。



※令和7年6月1日から運用を開始しています

映像通報システム「映像119」運用開始!!

## 消防団

### 第76回新潟県消防大会開催

第76回新潟県消防大会が十日町地域消防ヘリポートで開催されます。この大会は、県内各地の消防団が集い、日頃の訓練の成果を競い合うポンプ操法大会です。

地域の安心・安全を守るため、厳しい訓練を重ねてきた団員たちの熱い想いと規律ある動き、そして息の合った動きに声援をお願いします。

#### ◆日時

令和7年7月27日(日)

8時30分～12時50分

#### ◆会場

十日町地域消防ヘリポート

#### ◆地元消防団代表

- ・十日町方面隊第13分団 (土市)
- ・自動車ポンプ操法
- ・中里方面隊第1分団 (田沢本村)
- ・小型ポンプ操法

※当日は、一般の方も見学可能です。詳細は、十日町地域消防本部へお問合せください。

(TEL 025・757・1556)

## 赤色灯

### 【熱中症にご注意を】

全国的に7月～8月は救急件数が多い傾向にあります。その最大の要因が熱中症です。熱中症は、高温の環境下で体温調節がうまくできなくなり、体内の水分量や塩分量のバランスが崩れることによる症状をいいます。めまい・嘔吐・けいれんのほか、重症になると命の危険性もあります。**屋外・屋内問わず発症することがあるので注意が必要です。**

#### 熱中症にならないために

- ・水分をこまめにとろう!
- ・塩分をほどよくとろう!
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事をとり、丈夫な体をつくろう!
- ・エアコンを活用し室内を涼しくしよう!

これからは夏本番です。予防対策を適切に行い、暑い夏を乗り切りましょう。

【伊藤】



消防だより  
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田1-4-1番地  
編集 総務課企画広報係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499  
ホームページ http://www.tokamachi-koukijip/ E-mail ttd119@tokamachi-kouiki.jp